

令和3年度 中学校体育大会  
第52回北海道中学校バドミントン大会

新型コロナウイルス感染症対策

**「競技・運営上の注意」**

北海道中学校体育連盟  
北海道バドミントン協会

## 1. 基本的な考え方

公益財団法人日本バドミントン協会及び北海道バドミントン協会が作成した新型コロナウイルス感染症防止対策ガイドラインに準じて、参加者及び関係者の健康と安全の確保を最優先して実施する。

## 2. 会場への入場制限および無観客試合の実施について

- ① 本大会は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から入場者の制限を行い、各チームの監督、コーチ、選手、役員（審判を含む）及び開催地の補助生徒のみとする。（以下、大会関係者とする）

**※ 応援での生徒・保護者の入場はできません。**

- ② 新型コロナウイルス感染症防止対策のため、大会関係者は次の書類を必ず提出すること。

### 北海道中学校バドミントン大会 監督・選手等の健康状態報告書（別紙2）

※ 大会関係者は、大会前後2週間、毎日「健康管理表（別紙1）」と「行動履歴書（別紙4）」を記入し、その内容をもとに作成した「北海道中学校バドミントン大会 監督・選手等の健康状態報告書（別紙2）」を、大会期間中、毎日記入し、1日ごとに「受付（当番校）」へ提出すること。

※ 上記の書類は、当番校で一定期間保管し、期間経過後はシュレッダー処理をする。なお、体調がよくない（同居家族を含め、発熱・咳・倦怠感などの症状がある）場合は自主的に参加を見合わせる事。

- ③ 発熱者（37.5度以上）の入場を禁止する。
- ④ 大会関係者は期間中、必ずマスクを着用する。（試合時及び練習時は除く）
- ⑤ 試合当日、予定していた試合等が終了し、敗者審判等の役割を終えたチーム（選手）は、すみやかに順次退館するようお願いします。
- ⑥ 「新北海道スタイル」安心宣言を掲示し啓発を行う。

## 3. 会場内で使用する物品について

- ① 感染拡大予防として使用する、消毒薬、遮蔽用具、非接触型体温計等を事前に準備する。（消毒薬の残量チェックを定期的に行う。）
- ② 出入口やトイレ付近や通路にアルコール等の手指消毒剤を設置し、大会関係者同士が密な状態にならないように、あらかじめ定員を設定し、間隔を空けるなど配慮する。

## 4. 開場時間・受付について

- ① 体育館開場時間は、午前8時00分の予定です。
- ② 会場の入り口に受付を用意します。「プログラム」、「参加料領収書」、「競技・運営上の注意」、「IDカード（入場証）」等を同封した封筒を受け取って下さい。
- ③ IDカードは大会期間中、必ず身につけること。（試合時及び練習時は除く）。練習会場に入る際にもIDカードを着用し、提示が求められます。

## 5. 大会会場内に関する確認事項

- ① 換気の悪い密閉空間にしないよう、定期的に外気を取り入れる換気を行う。
- ② 密を避けるため、組合せやタイムテーブルの掲示はしない。
- ③ 岩見沢スポーツセンターは、外履きのままギャラリー（選手待機場所）に入場できます。
- ④ 更衣室の使用範囲を更衣のみとし、シャワー・ロッカーの使用を禁止する。

- ⑤ 食事場所は、飛沫が発生し感染リスクが高いことから、密にならないよう感染拡大防止を徹底する。
- ⑥ 待機場所及び観戦については、指定された場所や席または距離を開けて行き、席の移動は禁止する。  
(自チーム選手が試合をしているコート付近観覧席への移動や通路からの応援も禁止する。) 応援は声を出さずに拍手で行う(手拍子禁止)。鳴り物、うちわ、メガホンなどを利用した応援も禁止する。

## 6. 大会本部

- ① 大会本部の設置は、密を避けるように配置し、適切な運営スペースを確保する。
- ② 関係者控室は、なるべく多くの部屋を確保し、密を避けるようにする。但し、確保が困難な場合は、飛散防止シート等の設置、利用人数の制限を行う。
- ③ 共用スペース(トイレ・更衣室・食事場所等)及び共有物品については、定期的に消毒を行う。

## 7. 競技会場(競技スペース)及び競技関係用具類について

バドミントンの大会は体育館で行われるため、換気については特に配慮が求められ、また、競技で使用する用具には不特定多数の方が直接手を触れる物が多いため、大会期間の前後を含め継続した対応を行う。

- ① 遮光性に配慮の上、可能な限り窓や扉を開放して行う。
- ② 窓や扉の開放ができない場合は、換気の悪い密閉空間とならないよう十分な換気を行う。その際は、換気のタイミングや換気時間等を決め、事前に周知する。
- ③ コートサイドにはカゴやドリンクケースは設置しないので、バッグ等(ラケット、タオルを収納できるもの)を持参し、コートサイドもしくは所定の場所に置き、ドリンクも各自のバッグに保管する。また、**勝者サイン用の黒色の鉛筆またはボールペンを持参すること。**
- ④ コーチングシートは1席用意します。使用した椅子は、チェンジエンス毎に持ち歩くこと。
- ⑤ 試合のない選手は、各チームの待機場所(指定された観客席)で待機する(団体戦はベンチを設けない)。
- ⑥ インターバルの時間は設定するが、ボードは使用しない。
- ⑦ コートのモップ掛けは、毎試合終了後に係生徒(当番地区)が行う。
- ⑧ 毎試合終了後の審判用具(筆記用具・ボード・カゴ)を消毒する。
- ⑨ 毎試合終了後の審判台・線審席・コーチ席・得点係席を消毒する。

## 8. 競技関係者及び競技中の確認事項

- ① 線審、得点係等は、マスクを着用する。水分補給を促し、熱中症対策を講じる。
- ② 得点係は、原則開催地区で予定し、手袋(ビニール)を使用する。  
(開催地区補助生徒の人員によっては、線審が得点係を兼ねる場合がある)
- ③ 選手同士や審判員との握手は行わない。
- ④ トスは、フィジカルディスタンスを確保して行う。
- ⑤ コールは、必要最小限とする。  
⇒「プレー」「フォルト」「レット」「ゲーム」等で行う。線審は、指定の合図を行い、コールをしない。
- ⑥ シャトルの交換は、主審に確認の上、選手がシャトルを筒から取り出し、使用済みシャトルは選手が回収用のかごに入れる。※定期的に競技役員が確認する。
- ⑦ プレーヤー同士や監督・コーチとのハイタッチ等の接触を行わない。また、ラケット・タオル等の用具の貸借はしない。

- ⑧ 汗をコート内やコートサイドに投げない。
- ⑨ シューズの裏を手で拭かない。
- ⑩ 試合中の声出しは、極力控える。大きさや回数によっては、本部（審判）から控えるをお願いすることがある。
- ⑪ コーチングは一定の距離を保ち、必要最小限に短時間で行う。
- ⑫ 団体戦のメンバー変更は、午前8時30分までに本部席へ提出すること。  
タイムテーブル1段目のオーダーは午前8時45分にオーダー交換を行います（本部席横）。
- ⑬ 団体戦は、複①、単、複②の順に行い、どちらかのチームが初戦の場合は複②まで行い、それ以降は勝敗決定（2マッチ先取）後、打ち切りとする。
- ⑭ 試合開始前の放送により、エントリーしている監督・コーチ・マネージャー・選手は指定されたコートに集合・整列して下さい。  
**今大会については、オーダー確認および挨拶後、試合のある選手（複①と単）以外は待機場所（指定された観覧席）に戻り、待機して下さい。複①もしくは単の試合が試合終了次第、複②の選手は速やかにコートに移動して下さい。（コートに移動するタイミングは、試合終了後の消毒作業時をお願いします。また、試合が終了した選手は、全ての試合が（勝敗が決定）しましたら、再度、監督・コーチ・マネージャー・選手はコートに整列し、退場して下さい。**
- ⑮ 試合開始前の練習は、主審の指示で各マッチ毎に開始前2分間とする。シングルの練習は、対戦選手同士で行う。練習球はそれぞれの選手で持ち寄ること。
- ⑯ 敗者審判（監督による主審・選手による線審）とします。団体戦の線審は対戦チームから1名ずつご協力をお願いします。

## 9. 開閉会式・監督会議・公式練習について

- ① **開会式及び閉会式、監督会議は実施せず、表彰のみ随時行う。**
- ② 公式練習については、以下のとおりとする。（後日、北海道協会のHPにアップします）
  - ・ 7月30日（金）団体戦は、2巡目までの試合に入っている学校が会場で公式練習を行う。
  - ・ 7月31日（土）個人戦1日目は、BS1回戦（1～31）の選手のみ会場で公式練習を行う。

## 10. その他

- ① 会話をする場合は、マスクの着用を励行する。
- ② 適宜手洗いやうがい等により予防に努める。
- ③ ゴミについては、感染症拡大防止の観点から各自持ち帰り自宅で処分する。

◎今大会は新型コロナウイルス感染予防の観点から、例年のような大会運営とはならない状況にありますが、感染者を出すことなく無事に大会を終えたいと考えています。この「競技運営上の注意」につきましても、今後の知見の集積および新型コロナウイルスの感染状況により、逐次見直すことがあり得ることにご留意ください。皆様の多大なるご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和3年7月16日